

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
障がい者 (19)	5等になりたい (アニメ)	DVD	76	小さいころの病気がもとで4歳まで立つことすらできなかった律子。小学校に入っても、皆とおなじように歩くことができず、クラスメイトたちにかかわれるのでした。傷心の律子は、足のマッサージ師石橋先生から《人としての本当のやさしさ、強さ》を教わります。それをきっかけに、明るくたくましく生きぬこうとする律子。その夢は『かけっこで5等になる！』ことでした。3年の運動会も近づき、律子の班では『律子ちゃんがいたらリレーで負けちゃうよー』と大騒ぎ。班からぬけようとする律子でしたが・・・。さあ、律子の5等になる夢はかなうのでしょうか。
障がい者 (24)	知的障害者の雇用への道 ～歩みはじめた医療 現場の実践から～	DVD	27	医療現場には様々な業務がある、その切り出し方や組み立て方によっては多くの障がい者のチャレンジが可能となる。
障がい者 (25)	今日もよか天気たい	DVD	35	青柳京子(46)は、人生の半ばで視力を失ったにもかかわらず、人の悩みや苦しみに耳を傾ける傾聴ボランティアとして、明るく元気に暮らしている。しかし、突然障がい者となってしまった当初は、自分を避けるようになった友人や周囲の人達の仕打ちに、戸惑い、傷つき、京子はひとりぼっちと思い込み、5年間も引きこもる暮らしをしていた。でも、京子は決して孤独ではなかった。多くのボランティアも京子を救おうとしてくれていた。そして、母の存在も京子の生きる支えであった。やがて、障がいを持っている自分も人の役に立てるのだと気づいた京子は、歩行訓練にも熱心に取り組むようになり、生きがいを感じるようになった。また、さまざまな勉強会にも参加。障がい者差別だけでなく、同和問題をはじめとした多くの差別が残っていることも知った。
障がい者 (29)	ふるさとをください	DVD	94	片倉千草は帰郷して県庁に就職。父親の雄二郎は店を営むと共に地域のリーダーで、障がい者がクリーニング屋とパン屋を始めるといふ情報に、町内会で反対運動を進める。千草は共同作業所職員の内藤と知り合い共感するが・・・一生懸命な千草と反対する雄二郎の衝突は増えるばかり。その頃、共同作業所で働くメンバーに1組のカップルが生まれ結婚をめざす動きが・・・彼らを支えようとする千草や内藤の努力が実り、街の人々の雰囲気が変わり始めるのだが・・・美しい自然と優しい心にあふれる和歌山でのロケーションが、ハートフルな映像を見せて観客の心を癒してくれる！
障がい者 (30)	障がい者イズム このままじゃ終われない	DVD	94	主人公は、40歳を目前にして自立を決意した3人の障がい者たち。今、自立しなければいつまでも社会に出られない。そんな切迫した気持ちに背中を押されて、3人はそれぞれの自立を目指した。ひとりで暮らし、仕事をする。そんな誰にとっても当たり前の生活を得るまでの長い道は決して平坦ではなかった。経済的な問題、入居している施設の冷たい反応、何もしようとしない行政、無関心な社会、そして思いがけない家族の反対。様々な障壁を乗り越えて自立生活を始めた時から、6年の歳月が流れていた。

分類	題 名	種類	時間 (分)	内 容
障がい者 (31)	障害ってなに？	DVD	40	2006年に国連で採択された障がい者権利条約では「障害が、機能障害を有する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用」だと示している。生涯は個人の機能（＝医学モデル）に起因するものではなく、社会の仕組みや社会参加を保障するための工夫が不十分など問題（＝社会モデル）であり、結果として「障害」が生まれるのです。このように、日常生活や社会生活を送る上で障害となる社会における事物や制度、慣行や観念など一切のものを「社会的障壁」といいます。条約では障がい者の権利を保障するために社会的障壁を除去すること、合理的配慮を実現することをもとめています。建設的な対話を通して合理的配慮の提供が必要です。この作品を通して多くの人が「誰もがいきやすい社会づくり」へ参画して下さることを希望している。